

「令和6年度（2024年度）第1回EBE協議会」

日時：令和6年（2024年）5月30日（木）13:15～16:00 ZOOMによる遠隔会議

参加者：管内小・中学校長及び公立高等学校長 計54名

5月30日（木）にWeb会議システム（ZOOM）を活用して、「令和6年度（2024年度）第1回EBE協議会」を開催した。

本協議会は、小中高12年間を一体的に捉えた児童生徒の学力や学習状況等の分析結果を踏まえ、組織的な授業改革や学力向上等に向けた校内体制の整備、具体的な授業改革の方法などに関する説明や協議により、本道の児童生徒に必要な資質・能力の育成に資することを目的としており、今年度は全3回実施する予定である。

○説明①

松浦教育支援課長が、令和5年度の本事業の振り返りと令和6年度の道の取組の方向性についての説明や授業改革に向けた情報提供などを行い、小中高12年間を見据えた取組の充実について、共通認識を図った。

○説明②

森田次長が、令和5年度宗谷管内学力保障プランの評価結果の分析を踏まえ、令和6年度の宗谷教育局における学力向上に向けた目標指標や取組のポイントについて説明するなど、管内全体としての取組の方向性を示した。

○実践発表 「組織的な授業改革や学力向上等に向けた校内体制の整備に係る自校の取組について」

発表① 中頓別町立中頓別小学校長 宮崎 哲也 様

- ・2年後に、義務教育学校が開校。
- ・教務部や研修部と連携した各プロジェクトチームによる取組内容を紹介。
- ・少ない教職員でもやりがいを感じられる校内体制の構築を目指している。

発表② 豊富町立豊富中学校長 高橋 一哉 様

- ・教職員の資質向上を目指し、教科横断的な系列別教科グループの体制を構築し、共通の手立てを実施。
- ・校外研修に積極的に参加するよう促すなど研修機会の充実に努めた。
- ・「エビデンス」について、正しく理解し、適切な手立てを講じることが質の向上につながる。

発表③ 北海道浜頓別高等学校長 福本 典子 様

- ・基礎力診断テストを活用し、その結果から、学年毎の学力状況に合わせた指導・対策を実施。
- ・個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、R6年度は教科会議の実施、中学校との円滑な接続のための連携、読書推進に取り組む。

令和6年度(2024年度)版 宗谷管内 学力保障プラン 「3つの柱」

- I 「検証改善サイクルの確立」
- II 「授業改革の推進」
- III 「家庭・地域、学校間の連携の推進」

○協議

ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に係る授業動画を視聴後、学校規模別のグループに分かれ、「校長として、全ての子どもに目指す資質・能力を確実に育む授業改革を推進するために今後、どのような取組が必要か。また、それらの取組をどのように進める必要があるか。」協議を行った。

<意見>

- ・教職員間で授業のイメージを共有することが重要。
- ・子どもの実態や目指す資質・能力を明確にして取り組むことが大事。
- ・小中や中高など学校間の連携をより一層推進することが必要。

<まとめ>

千代義務教育指導監が、事例発表や協議での意見を受け、効果を上げるキーワードとして、①自校の課題の共有 ②取組の共有 ③取組の結果、成果・課題、変容の共有の「3つの共有」を教職員間で行うことが重要になるとまとめた。

